

Indonesia Weekly

2018年12月10日



(対象期間：2018/12/3～12/7)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2018年12月7日)



【株式市場】

週前半の株式市場は週末のG20会議後に米中貿易交渉の進展期待が高まったことで堅調に推移しました。その後は今後の米中貿易交渉のプロセスに不透明感が台頭したことでインドネシア株式市場も利益確定売りが優勢となりましたが、週後半には再度反発を見せ、週間で上昇しました。セクター別では基礎産業・化学、建設・不動産、消費財などが多くのセクターが上昇しました。

2018/11/30	2018/12/7	変化率
6,056.12	6,126.36	+1.16%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2018年12月7日)



【債券市場】

週前半の債券市場は横ばいとなりました。週初に発表された11月消費者物価指数は前年同期比で3.23%と、事前予想とほぼ一致した内容となりました。週半ばには米中貿易交渉を巡る不透明感から利益確定売りの動きが優勢となり、週末にかけて下落する流れとなりました。週間では、10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

2018/11/30	2018/12/7	変化幅
7.867	8.035	+0.168

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2018年12月7日)



【為替市場】

週初の為替市場は小動きとなりました。週半ばには米中貿易交渉を巡る不透明感から利益確定売りの動きが優勢となり、週末にかけて下落する流れとなりました。金曜日に発表された11月の外貨準備高は2か月連続の増加を記録しました。週間では、ルピアは対米ドル、対円ともに下落しました。

2018/11/30	2018/12/7	変化率
0.7941	0.7779	-2.04%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。 ※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。 ※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。 ※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。 ※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。

